



わかたけ

山形市立南小学校
学校だより
R7.10.24 発行
第8号
文責：横山 聡

わかたけっ子 全員で運動会をつくろう！

10月30日（木）開催予定の「わかたけ大運動会」に向けて、それぞれの学年、係で活動が盛り上がっています。今回は、わかたけっ子が運動会をみんなで創ろうと頑張っている様子をお伝えします。

スローガン・テーマソング発表&係紹介

10月15日（水）の全校朝会で、運動会実行委員により、「スローガン・テーマソング発表&係紹介」が行われました。

今年のスローガンは「**全員団結！心を一つにみんなで創り上げる運動会！**」となりました。全学年からどんな運動会にしたいか意見を集め、みんなの思いを集約してつくったスローガンです。「**全員**」に「だれ一人とり残さない」という思いを、「**団結**」に「全校生で力を合わせる」という思いを、「**心を一つに**」「**創り上げる**」に、「勝ちたい」「赤白関係なくみんなで運動会をつくろう」という思いをこめたと説明がありました。特に「心を一つに」「創り上げる」は、児童会目標「心に耳をかたむけ合い、大好きな自分と学校を創り上げよう」に繋がる言葉として入れたとのこと。スローガンは、これからの取り組みの指標となり、自己評価の基準になります。子どもたちの思いがしっかりこめられたスローガンをもとに活動がスタートすることを大変うれしく思いました。

テーマソングはYOASOBIの「舞台に立って」となりました。NHKのオリンピック放送のテーマソングで、オリンピック選手のように頑張ってもらいたいと考えて選んだそうです。歌詞にある「**あのことを思い出す 何度も何度も**」から

「練習を何度も重ねることで本番の力になる」、「**どんな自分も超えてみせる**」から「昨日よりもなりたい自分に近づくことができる」、「**いつも結果と成果 遊びじゃない そんなことわかって**いる」から、「本気で取り組みれば、勝ち負けも関係ない、練習から本気で取り組みよう」というメッセージを受け取って運動会を盛り上げていきたいと思います」と説明がありました。

そして、今年度は運動会のマスコットキャラクターも発表されました。運動会でマスコットキャラクターが登場したのはこれまでなかったのではないのでしょうか。紹介された瞬間、子ども達から「お～！」という声が上がりました。名前は「はくねつくん」です。熱い思いで取り組むことで赤白関係なく盛り上がり、組を越えて輝いてほしいという思いを込めた名前だそうです。頭の上のハートは、児童会目標の「大好きな…」を表していて、運動会では、大好きな自分と大好きな仲間たちで創り上げようという思いをこめたとのことです。



マスコットキャラクター

続いて、運動会を創る上で、重要な役割を担っている係の紹介がありました。応援団、チームリーダー、看板係、アナウンス係、グラウンドキーパー係、広報係、装飾掲示係、用具・旗係、それぞれの係長から仕事の内容とめあてや頑張りたいことについての発表がありました。係長たちのリーダーとしての自覚とやる気が伝わる発表でした！



運動会結団式

10月22日（水）の全校朝会で、運動会結団式が行われました。

はじめに、実行委員から学年競技と応援の点数と制限時間について説明がありました。応援賞採点の観点は、声の大きさ（組の全員が声を大きく出している）、やる気（素早く・静かに整列・行動、一生懸命・真剣な態度）、まとめ（振付がそろっているか、応援団の声と全体の声が一体となっているか）となっています。特に実行委員が強調していたのが、スローガンにもある「全員」ということでした。

組頭・応援団長のあいさつと団員の自己紹介では、団員の熱い思いとやる気が体育館に響き渡りました。最後に、各組のエールです。1年生にとっては、初めての運動会エールだったので、声の大きさと迫力に驚いていました。



運動会を通して、「自分づくり」「学年・学校づくり」！

運動会は、子どもたちの主体性や協働性を育む大きな教育活動です。教職員で、運動会でめざす子どもの姿について、次のように確認をしました。

- ◆低学年 ・ 自分の思いやアイデアを素直に表現し、友達と一緒に活動を楽しめる子ども
・ ルールや約束を守りながら、みんなで運動会をつくる喜びを感じられる子ども
- ◆中学年 ・ 自分たちの考えを出し合い、仲間と協力してよりよい運動会を創ろうとする子ども
・ 話し合いを通して、相手の意見も大切にしながら主体的に行動できる子ども
- ◆高学年 ・ 運動会づくりをリードしながら、下級生を支え、全体を見て動ける子ども
・ 自分たちの力で工夫し、みんなが楽しめる運動会をつくろうとする責任感と創造力をもった子ども。

そして、そのための手立ての一つに、「どんな運動会にしたいか」「そのために自分はどんなことを頑張りたいか」を学級や学年で掘り起こし、一人一人がめあてを持って取り組み、ふり返りながら活動し、達成感を味わえるようにする、ということがあります。

本校で育成をめざす資質・能力「（２）学習の基盤となる資質・能力
①言語能力 ②メタ認知 ③問題発見・目標設定能力 ④問題解決・目標達成能力」を駆使して「目標設定→解決のための方策検討→実践→評価」と学習を進めます。

教職員は、その姿を見取り、励まし勇気づけ、価値づけることに努めます。がっかりしたとき、困ったときにどんな言葉を仲間とかけ合えるか、自分にどんな声をかけて取り組むか、ということも大きな学びになります。ぜひご家庭でも、お子さんの話を聞いてみてください。

めあて・ふりかえりカード